

第2回 医学用原子分子 原子核データワーキンググループ議事録

1. 日時 : 昭和 57 年 12 月 16 日 13 時 30 分～ 17 時
2. 場所 : 日本原子力研究所東海研究所 タンデム加速器棟会議室
3. 出席者 : 尾内能夫, 喜多尾憲助, 白貝彰宏, 平岡 武, 高田信久, 竜福 廣,
中井洋太, 浅見哲夫, 田村 務, 沼宮内弼雄,
(欠席者: 岩波 茂, 伊藤 彬, 高橋 旦, 中島竜三)

4. 議 題

1) 議事録の確認

第1回ワーキンググループの議事録が原案どおり承認された。

2) 英国における医学生物学データ活動 (白貝委員)

UK Nuclear Data Committee の下部機構である UK Biomedical Subcommittee の活動について, 配布資料にもとづき説明があり, 質問・討論が行われた。

3) ICRU のデータ活動 (平岡委員)

ICRU のデータ活動について, 配布資料にもとづき説明があり, 質問・討論が行われた。

4) 核構造に関するデータ (原研 田村氏)

原研・核データセンタが持っている核構造, 特に崩壊に関するデータについて説明があり, 質問・討論が行われた。

5) 今後の展望: 上記3件の報告について検討した結果, 今後, ① 10 keV以下の電子の阻止能, ② 阻止能の Mixture 効果, ③ 荷電粒子の阻止能, ④ 加速器で得られる中性子のエネルギースペクトル, ⑤ 原子分子の利用可能なデータの紹介, ⑥ 医学・生物学を実際に担当している人達の要望等を取り上げていくことになった。

当面, 次回は, 核反応に関するデータ^とを上記 ①, ②, ③ を議題とすることとした。

以 上